

### 第3回池袋駅周辺地域再生委員会における主な意見と ガイドライン(案)への修正内容

主な意見		ガイドラインへの修正内容
1	池袋の発展にはコンベンション機能が 必要であり、造幣局跡地の開発にあつ ては導入を検討してほしい。	P.28 戦略1- / 1項目修正 ・国内外で活躍するグローバル企業の集積を図るとともに、 <b>カンファレンス機能などを誘導し、業務機能を強化</b> します。 P.29 戦略1の「導入機能・導入空間の連携と導入イメージ」の 上部テキストBOXに追記 ・ <b>カンファレンス機能(会議や研究会、協議会、検討会などのカンファレンスを円滑に行う機能)</b>
2	アート・カルチャーに関する取組は、地 域が主体となった芸術祭など国内の取 組を参考とし、地域と連携して進めてい くべきではないか。	P.29 戦略1の「導入機能・導入空間の連携と導入イメージ」の 下部写真修正 <b>西口駅前広場のよさこい祭り「駅前広場空間を活用した地域 主体のイベント」</b>
3	都電荒川線を動線としてまちづくりに 活かしてほしい。 都電とLRT構想線がつながるように 計画してほしい。	P.30 戦略2- の4項目修正 ・造幣局東京支局移転後の跡地では、防災と文化・交流機能 を備えた施設整備を契機に、東池袋駅周辺エリアと大塚、雑 司が谷を結ぶ <b>歩行者空間整備や都電荒川線を生かし、新た な人の流れを生み出します。</b>
4	地下鉄新駅の記載について	P.30 戦略2- / 5項目修正 ・東池袋駅周辺では都市づくりの動向を踏まえ、交通 <b>結節機能</b> の強化に向けた <b>検討</b> を進めます。
5	サインの統一に関して、多言語化も明記 しておいたほうがいいのか。	「多言語化」の目的は全ての人にとってわかり易さの向上であ るため、P.30 戦略2- の文章を修正 ・地下通路のバリアフリー化や案内誘導サインの <b>わかりやすさを 向上させ、すべての人にとって、駅の乗換えや駅と周辺を結ぶ スムーズな移動を確保</b> します。 ・駅での案内サインの <b>整備</b> などと連携し、駅から周辺のまちへ の <b>連続性</b> のある案内サインの充実やバリアフリー化を進めると ともに、移動を支援する仕組みづくりに取り組みます。
6	リノベーションを、アーティストのため だけでなく、ファミリー層や女性のため のまちづくりにも活かしてほしい。	P.35 戦略4の「安心して子育てができるまち」の説明写真を一 部修正 <b>東池袋ロイヤルアネックス「リノベーションまちづくりによる安心し て子育てできる環境、住まいづくり」</b>

7	東京芸術劇場の活用は、戦略的にも重要ではないか。	P.24 の将来像の上部「世界中の人が集まるまち」の文章に東京芸術劇場の活用を記述済み (東京芸術劇場の具体的な活用方策は、国際アート・カルチャー都市構想実現戦略等に対応)
8	法改正で、災害時のエネルギー確保の協定制度もできた。 (P34 戦略4の と に関して)安全確保計画でエネルギーのことも盛り込んだほうがよい。	戦略4 に災害時エネルギー確保は記述済み (具体的な書き込みは今後策定する池袋駅周辺都市再生安全確保計画に対応)
9	戦略3の、交通ゾーンコントロールや歩行者優先の駅前広場などに関しては、なるべくはやく関係者と協議を行ってほしい。	ガイドライへの反映はなし (ご指摘の通り、取り組んでいく。)